

04 株式会社鈴工

- 所在地 三重県伊勢市大湊町656-2
 事業内容 木材加工機械製造業
 従業員数 75名



HPは
こちら



テーマ データベース化による設計・営業の標準化

DXチャレンジの
きっかけ

三重県のDX支援事業(無償)のチラシを見て、みえDXスキルアップアカデミーやみえDXトライアルサポートなど、すべてに申し込もうと決意しました。約3年前からDX推進に興味を持ち始めていましたが、自身の知見が十分ではなく、伴走支援を受ける機会を探していました。

具体的な課題

1 20年以上前の旧来の基幹システムを使用しており、データが分散

2012年に営業管理や経費精算のシステムを導入し使用していたが、基幹システムが20年以上前のアクセスベースであり、各システムが連携されていませんでした。

2 部門ごとに業務プロセスが異なり俗人化しており、標準化が困難

3 DX推進のプロジェクト体制が未整備

社内でDXを推進する明確なリーダーが不在であり、部門ごとに業務のやり方が固定化されていました。DX推進において社内の理解を得ることが難しく、広く展開するための戦略が不足していました。

伴走支援取組内容

業務フローの可視化

システム導入と改善計画

CADDi Drawerを導入し、設計データの標準化と共有化を進める

CADデータの管理
個人依存で統一
されていなかった

CADDi
Drawer
導入

・設計品質の統一化
・営業の標準化
・コスト試算 など

kintoneを活用した情報一元化と社内DX推進を検討

社内データの一元管理と情報共有を強化しました。

今後の
展望

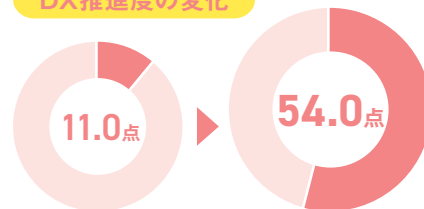
DX推進の専任担当を配置し、更なる業務改革を進める

DX推進専任者の配置や外部リソース活用(副業人材の活用など)を検討します。4月に社内説明会を実施する予定です。

得られる効果(未来予測)

- ✓ 設計・営業のデータ共有による **業務効率向上**
- ✓ 情報一元化による **業務時間短縮**
- ✓ DX推進の体制整備

DX推進度の変化



企業担当者の声

今後はDX推進専任者を増やし、より強固な体制を構築していきたいと考えております。データの蓄積・活用を進め、将来的にはAIを活用した業務改善も視野に入れていきます。また、各部門で人材採用を進めつつ、DXを通じた省人化も達成し、働く社員のストレスを軽減したいと考えています。最終的には100億企業を目指し、新たな社屋を建設し、地域を代表する企業へと成長していきます。

今後DXにチャレンジする企業へのメッセージ

ひとことで言うと「やってよかった」です。支援を受けたことで、やるべきことが明確になり、スピード感を持つ必要性を実感しました。一歩踏み出すことで、新たな発想が生まれる環境が整うほか、相談できる相手がいるということが、DX推進の大きな助けになると思います。もし支援がなかったら、何も動けずに不安を抱えたままでしたが、支援を受けることで業務の流れ、課題の洗い出しができ、スタートラインに立つことができました。DXに興味がある企業は、まずは支援を活用してチャレンジしてほしいです。